

公益社団法人 日本水産学会
令和3年度第5回理事会議事録

1 開催された日時 令和3年9月18日(土)13時00分～14時59分

2 開催された場所 日本水産学会事務局(東京都港区港南4-5-7)

3 理事総数及び定足数

総数 17名, 定足数 9名

4 出席理事総数 14名

(Web会議システムによる出席)

金子豊二、吉崎悟朗、潮 秀樹、八木信行、廣野育生、中田 薫、
横山芳博、佐野元彦、木村暢夫、落合芳博、小島隆人、平塚聖一、
野田幹雄、大嶋雄治

5 出席監事

(Web会議システムによる出席)

杉田治男、舞田正志、野澤知世

6 出席幹事

(Web会議システムによる出席)

横田賢史、團 重樹、澤山英太郎、長阪玲子、壁谷尚樹、小山寛喜

7 オブザーバー

(Web会議システムによる出席)

清水宗敬

8 議 案

決議事項

第1号議案 「役員候補者選出規程の一部改正」の件

第2号議案 「日本水産学会論文賞選考についての申合せ事項の一部改正」の
件

第3号議案 「令和4年度春季大会運営委託業者」の件

第4号議案 「令和4年度春季大会募金目論見書」の件

第5号議案 「2022年度日本農学賞の推薦」の件

第6号議案 「第20回日本農学進歩賞の推薦」の件

第7号議案 「世界水産学協議会の会費の支払い」の件

第8号議案 「共催及び後援」の件

第9号議案 「入会承認」の件

報告事項

① 第4回理事会以降の職務執行状況

② その他確認事項

9 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

金子会長が定足数の充足及びWeb会議用装置からなるWeb会議システムにより、出席者の音声、映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するの

と同等に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。
続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 令和3年度秋季大会の報告

清水大会総務担当から令和3年度秋季大会についての報告があった。

(3) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき、金子会長が議長となり、本会議の成立及びWeb会議システムを用いて開催する旨宣言し、議案の審議に移った。

(決議事項)

第1号議案 「役員候補者選出規程の一部改正」の件（別紙1）

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、原案を一部修正した上で、出席理事全員一致で可決した。

本件について以下の質疑があった。

潮理事「第7条4項の「所定の方法を用いないもの」という表現では、方法がオンラインまたは用紙での投票を指すことになり、所定の投票用紙を用いなくとも良いという解釈もできる。したがって、方法とは何かを規定する必要があるのではないか。」

金子会長「「所定の方法」の箇所を誤解が生じないような表現に変更する。」

第2号議案 「日本水産学会論文賞選考についての申合せ事項の一部改正」の件

潮編集担当理事から、原案の説明があった。改正日時を令和3年9月18日に修正することが補足された。審議の結果、出席理事全員一致で修正後の原案を可決した。

第3号議案 「令和4年度春季大会運営委託業者」の件

小島担当理事から、令和4年度春季大会の運営委託業者および見積りに関する報告があった。春季大会はトーヨー企画に委託し、オンラインにて開催することを出席理事全員一致で可決した。

本件について以下の質疑があった。

金子会長「対面方式で実施するかオンライン方式で実施するかの最終的な判断はいつ頃になるか。木村理事、この件に関しては如何か。」

木村理事「秋季大会については、早い段階において対面で行うことを決定した。令和4年度春季大会についてもどちらで行うかを早めに決定した方が良いのではないか。」

金子会長「現実的にはオンライン開催が良いのではないか。」

小島理事「オンラインで実施する場合は、回線に不具合が生じる恐れがある。したがって、可能であれば回線に余裕のある施設において実施することも検討している。」

金子会長「サーバーの問題であると考えるが、業者に委託すれば問題ないのではないか。令和3年度春季大会では如何であったか。」

吉崎理事「東京海洋大学内の日本水産学会に本部を設置し、その本部にパソコンを並べて各会場のコントロールを行った。オンラインでは技術面以外の問題については学会側が対応しなければならないが、技術的な問題

は委託業者が対応することになるため、この点に関しては委託業者と時間をかけて議論する必要があると考える。したがって、現時点でオンライン実施に決定した方が良いと考える。」

潮理事「日本水産学会の回線を用いて運営したということか。」

吉崎理事「学会の回線を使用した。」

潮理事「東京海洋大学の回線ではないという認識で良いか。」

吉崎理事「大学とは別の回線を使用した。」

潮理事「学会には同時接続数が保てる回線が通っているのか。」

吉崎理事「回線自体は一般的なものである。」

潮理事「一般的な回線で問題が無かったのであれば、大きな負荷はかからないのではないか。」

吉崎理事「大学の回線は使用できなかったため、学会の有線の回線を使用した。」

金子会長「技術的な面は不明であるので、今後検討してゆく必要がある。令和4年度の春季大会はオンライン開催としたいが、如何か。ご意見がないようなので、来年度の春季大会はオンライン開催とする。オンライン開催では、技術的な問題がおこった場合に学会側では対応できないことが考えられる。したがって、委託での運営を進めていくことも考えなければならない。日本大学で運営に従事できる人数は如何ほどか。」

小島理事「15名ほどである。」

金子会長「皆が技術面に詳しい訳ではないと考えられるので、金銭はかかるが委託で進めることも考えなければならないだろう。来年度の春季大会は、オンライン学会を軌道に乗せるという位置づけをとり、多少金銭がかかっても良いという方針で如何か。金銭面は問題ないか。」

佐野理事「問題ないと考える。今年度の春季大会では多少不足したが、問題なかった。」

金子会長「予算が決まっているため、それ以上は使用できないという事態は考えなくて良いか。」

佐野理事「問題ないと考える。」

金子会長「どれほどの金額が出せるか不明であるが、安く済ませることに専念する必要はないと考える。今後のためにも再現性のあるシステムの構築を行って欲しい。小島理事には、業者の選定およびどこまで委託するか、どれほどの金額になるかを考えて頂きたい。」

小島理事「承知した。」

金子会長「技術面は不明であるが、業者に委託した場合は業者側のサーバー上で作業を行うことになるかと考える。この点も含めて説明できるようになって頂きたい。まずは、情報収集をお願いしたい。」

小島理事「承知した。」

金子会長「オンライン開催はトーヨー企画および連携する業者によって行われるのか、それともトーヨー企画と契約し、トーヨー企画が下請けに委託する形で行われるのか。」

小島理事「トーヨー企画およびメイプロジェクトが行う形である。」

金子会長「タイアップして行うということか。」

小島理事「そうである。」

金子理事「春季大会はトーヨー企画を中心として行うことにしたい。」

潮理事「メイプロジェクトの見積りを見ると、オンライン開催の場合、ポスターパネルが100万円となっているが、他の開催方法では25万円ほどになっている。この差はどのような理由から生じるのか。」

小島理事「おそらく、オンラインで行うポスター発表であるため100万円と見積られており、対面式では実際にポスターを貼るパネルとして25万円ほどが見積られているのではないか。」

潮理事「オンラインのポスター発表がなぜこのような高額になるのか。」

小島理事「この点に関しては確認を行う。」

廣野理事「今年度の春季大会でのメイプロジェクトへの支払いは2,923,000円であったことから、今回の見積り額は今年度の大会での支払い金額と大きく異なるものではない。」

吉崎理事「本日はトーヨー企画に委託することを承認するとともに、メイプロジェクトの方も承認しなければならないのか。金額についてメイプロジェクトともう少し交渉できないか。オンライン本部スタッフ関連の費用についても交渉の余地があるのではないか。相見積りがあれば交渉もしやすいのではないか。」

金子会長「従来の対面式の学会であれば見積りの評価ができるが、オンライン開催の場合は慣れていないこともあり、見積りを評価することが難しい。そのためにも相見積りがあれば良い。過大な請求をされることは避けたいので、業者との折衝を進めて頂けると有難い。」

小島理事「オンライン開催の場合の相見積りをとった上で改めて相談したい。」

金子会長「業者の選定については、トーヨー企画に決定とする。連携する業者については今後選定することとする。」

第4号議案 「令和4年度春季大会募金目論見書」の件

小島理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第5号議案 「2022年度日本農学賞の推薦」の件

山下学会賞担当理事に代わり、学会賞選考委員会委員である潮理事から原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第6号議案 「第20回日本農学進歩賞の推薦」の件

山下学会賞担当理事に代わり、学会賞選考委員会委員である潮理事から原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

第7号議案 「世界水産学協議会の会費の支払い」の件

廣野総務担当理事から、2021年度及び2022年度の会費支払いについての説明があった。他学会の支払い状況を鑑みた上で、執行部が今後の支払いについて判断する案が示された。審議の結果、出席理事全員一致で本案を可決した。

第8号議案 「共催及び後援」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で以下の共催及び後援を可決した。

① 日本学術会議公開シンポジウム

「フードシステムと養殖の未来」

主 催 日本学術会議食料科学委員会水産学分科会

共 催 水産・海洋科学研究連絡協議会 他 1 団体

後 援 大日本水産会 他 17 団体

日 程 令和 3 年 11 月 12 日

場 所 オンライン開催

希 望 共催

負担金 なし

② 東京海洋大学船舶・海洋オペレーションセンター主催シンポジウム

「練習船青鷹丸の教育と研究に果たしてきた役割」

主 催 東京海洋大学船舶・海洋オペレーションセンター

後 援 日本海洋学会 他 3 学協会

日 程 令和 3 年 9 月 25 日

場 所 オンライン開催

希 望 後援

負担金 なし

③ 第 18 回日仏海洋学シンポジウム（日仏海洋学会創立 60 周年記念）

主 催 日仏海洋学会

後 援 文部科学省 他 6 団体

日 程 令和 3 年 10 月 19 日～23 日

場 所 オンライン開催

希 望 後援

負担金 なし

第 9 号議案 「入会承認」の件

廣野総務担当理事から、原案の説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案の通り可決した。

（報告事項）

① 第 4 回理事会以降の職務執行状況

・会長

金子会長から、以下の報告があった。

1) 公開シンポジウム「フードシステムと養殖の未来」についての報告があった。

2) 令和 3 年 9 月 22 日に開催される世界水産学協議会ビジネスミーティングにて日本水産学会の活動報告がなされることが報告された。

3) 日仏海洋学会創立 60 周年記念シンポジウムが、オンラインにて令和 3 年 10 月 19 日に開催されるにあたり祝辞を送ったことが報告された。

4) 令和 3 年 9 月 13 日に開催された日本海洋学会創立 80 周年記念シンポジウムにおいてパネラーとして参加したことが報告された。

5) アメリカ水産学会から、国連の代表に対して CO₂ 排出削減を求めるように学会員に呼びかけ、さらに各種 SNS の連動するようにとの呼びかけがあったことが報告された。

6) 令和 3 年度水産学会秋季大会は中止となったが、水産環境保全委員会主催の研究会は開催され、参加者から CPD 行事参加票の発行を依頼されたことが報告された。

・庶務関係

廣野担当理事から、以下の協賛について、共催、協賛、後援の取り扱いの申し合わせ 3) を適用したとの報告があった。

① 第 6 回地中海底工学フォーラム・ZERO Online

主 催 地中海底工学フォーラム・ZERO 運営委員会

協 賛 日本船舶海洋工学会 他 7 団体

日 程 令和 3 年 10 月 8 日

開催方法 オンライン開催

希 望 協賛

負担金 なし

② 食品ハイドロコロイドセミナー2021

主 催 食品ハイドロコロイド研究会

協 賛 化学工学会 他 23 学協会

日 程 令和 3 年 12 月 17 日

場 所 東京海洋大学品川キャンパス楽水会館（東京都港区）・オンライン同時開催

希 望 協賛

負担金 なし

③ 第 32 回食品ハイドロコロイドシンポジウム

主 催 食品ハイドロコロイド研究会

協 賛 化学工学会 他 23 学協会

日 程 令和 3 年 12 月 18 日

場 所 東京海洋大学品川キャンパス楽水会館（東京都港区）・オンライン同時開催

希 望 協賛

負担金 なし

④ 第 29 回海洋工学シンポジウム

主 催 日本船舶海洋工学会・日本海洋工学会

協 賛 海洋音響学会 他 30 団体

日 程 令和 4 年 3 月 7 日・8 日

場 所 オンライン開催

希 望 協賛

負担金 なし

・企画広報関係

吉崎担当理事から、7 月 12 日および 9 月 17 日に企画広報委員会が開催され

たことが報告された。和文誌巻頭言の原稿執筆を引き受ける会員が少ないため、今後は学会理事にも執筆依頼をする場合があることが報告された。

・財務関係

佐野担当理事から、収支決算において発生した約 340 万円の余剰金を解消するため、用途を明確にした積み立てを行うなどの方法を検討していることが報告された。

・編集関係

潮担当理事から、投稿規程の一部改正に関する報告があった。「結果」と「考察」を合せた様式の原稿も受け付けること、および本文に脚注を付けることができるようになることが報告された。

・学会賞関係

金子会長から、日本水産学会各賞の公募が 5 月 21 日から 7 月 31 日までであり、9 月 4 日に学会賞選考委員会が開催されたことが報告された。

・シンポジウム関係

落合担当理事 特になし

・出版関係

大嶋担当理事から、7 月 6 日に出版委員会が開催され、3 件の企画について審議を行ったことが報告された。

・水産技術誌監修関係

中田担当理事から、第 1 回委員会を開催するために日程調整を行っていることが報告された。

・国際交流関係

中田担当理事から、10 月上旬に委員会を開催することで日程調整を行っていることが報告された。

・水産教育関係

金子会長から、以下の報告があった。

- 1) 令和 3 年度にみなし開催とされたミニシンポジウムの令和 4 年度春季大会での再実施は困難であるため、新たな課題を企画検討する。
- 2) 高校と水産教員関係大学の求職・求人に関わる情報交換のための窓口担当を設定することが決定された。

・水産政策関係

八木担当理事から、9 月 16 日に委員会が開催され、シンポジウムを令和 4 年の秋季に行うことで調整を行っていることが報告された。

・漁業・資源管理関係

小島担当理事から、令和 4 年度の開催に向けて漁業懇話会の準備を行っていることが報告された。

・水産利用関係

横山担当理事 特になし

・水産増殖関係

佐野担当理事から、秋季大会にて開催予定であった懇話会は、みなし開催となったことが報告された。

- ・水圏環境関係

野田担当理事から、9月13日にオンラインにて第2回水産環境保全委員会が開催されたことが報告された。9月16日に開催された研究会の参加者からCPD行事参加票の申込みがあったため、主催者名を水産環境保全委員会の理事および委員長として発行を行ったことが報告された。

- ・男女共同参画関係

中田担当理事から、10月9日に第19回男女共同参画学協会相互シンポジウムが開催されること、および第1回委員会を開催予定であることが報告された。

- ・水産学若手の会関係

潮担当理事から8月27日および9月14日に委員会が開催されたことが報告された。秋季大会で開催予定であったミニシンポジウムを9月13日にオンラインで実施したこと、およびポスターセッションも同日に開催したことが報告された。

- ・社会連携関係

横山担当理事 特になし

- ・将来計画関係

中田担当理事 特になし

- ・北海道支部、地域連携関係

木村担当理事から、北海道支部主催でSDGsに関する特別講演会を開催したことが報告された。また、次期のオンライン選挙は、Googleフォームを利用して実施予定であり、その準備を進めていることが報告された。

- ・東北支部、地域連携関係

落合担当理事から、10月23日にオンラインにて東北支部会およびミニシンポジウムを開催することが報告された。また、10月29日に東北地区の水産系高校の生徒による研究発表会が、男鹿海洋高校にて対面で行われることが報告された。

- ・関東支部、地域連携関係

小島担当理事から、今秋実施予定の支部幹事選挙をオンラインにて実施する方針に決定したとの報告があった。また、業者を選定し、見積りをとったこと、および9月末頃から約2週間の期間を設け、投票を行う予定であることが報告された。

- ・中部支部、地域連携関係

平塚担当理事から、支部幹事選挙を9月21日から10日間の日程で、i-voteを用いて実施されることが報告された。また、12月4日に支部大会をオンラインにて開催する予定であることが報告された。

本件について以下の質疑があった。

金子会長「i-voteによる投票サービスに費用はかかるのか。」

平塚理事「見積りをとったところ、7万円前後であった。非常に簡便であると聞いている。」

金子会長「選挙後に、使用した感想を報告頂きたい。」

- ・近畿支部、地域連携関係

金子会長から、9月4日にオンライン開催された水産のお仕事勉強会についての報告があった。

・中国・四国支部、地域連携関係

野田担当理事から、12月4日、5日に例会をオンデマンド方式にて開催することが報告された。また、支部幹事選挙は業者に委託し、i-voteを用いたオンライン投票で実施することが報告された。

・九州支部、地域連携関係

大嶋担当理事から、9月4日に支部例会を開催したことが報告された。支部幹事選挙はi-voteを用いて実施することが報告された。また、12月に総会を開催する予定であることが報告された。

・英文書籍監修委員会（特別委員会）

吉崎担当理事 特になし

・財務検討委員会（特別委員会）

八木担当理事 特になし

② その他確認事項

(1) 次回の理事会について

廣野総務担当理事から、次回の理事会は令和3年11月27日（土）13時からWeb会議システムにて開催するとの説明があった。

(2) 高校生による発表の優秀者一覧について

小島理事から、ホームページなどで過去の高校生発表の優秀者一覧が閲覧できれば、推薦入試などの際に利用できるのではないかという提案があり、今後検討を行うこととなった。

以上をもってWeb会議システムを用いた会議は、終始異状なく議案の審議等を終了したので、14時59分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長（代表理事）及び監事は記名押印する。

令和3年9月18日

公益社団法人 日本水産学会

議長 会長（代表理事）

監 事

監 事

監 事